

教科名	保健体育		学年	3	教科書 補助教材 等	最新高等保健体育（大修館書店）		
科目名	スポーツⅡ		単位数	2				
科目の到達目標	各種の運動の合理的な実践を通して、運動技能を高めるとともに、運動をすることの楽しさや喜びを味わわせ、体力の向上を図り、公正・協力・責任などの態度を育て、生涯を通して継続的に運動ができる能力や体力を育てる。							
学期	月	指導内容	主な指導目標		予定時数	備考		
一 学 期	4	・バレーボール ・ソフトボール	バレーボール：ネットを挟んでボールを打ち合い得点することを競う。ネット型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようになる。 ソフトボール：攻撃側と防御側に分かれ攻防を交代しながら得点を競う。野球型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようになる。		8	各種目において、社会の変化とスポーツや運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高めかたなどの体育理論について指導する。		
	5				8			
	6				8			
	7				6			
二 学 期	9	・バスケットボール ・ソフトボール	バスケットボール：相手との攻防の中でボールを運び、ゴールにシュートして得点すること競う。ゴール型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようになる。 ソフトボール：攻撃側と防御側に分かれ攻防を交代しながら得点を競う。野球型のゲームの特性を理解し、学習段階に応じた作戦を立て、防御から攻撃への連携を生かしたゲームが出来るようになる。		8			
	10				8			
	11				8			
	12				6			
三 学 期	1	・バスケットボール ・ソフトボール			6			
	2				4			
	3							
年間授業時間数計	70		1学期	30	2学期	30	3学期	10
学習上の留意点	集団行動を通して、授業規律と規範意識の向上を図り、安全に合理的に運動を実践させる。							
評価の観点					評価方法			
関心・意欲・態度	運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるように自ら進んで計画的に運動しようとする。また個人生活や社会生活における健康・安全に関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとする。				関心意欲態度・思考判断・運動の技能・知識理解の四観点から評価を行う。			
思考・判断・表現	自己やグループの能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して活動の仕方を考え、工夫している。							
技能	自己の能力と運動の特性に応じた課題の解決を目指して運動を行うとともに、運動の技能を高めている。また、自己の体力や生活に応じて体力を高めるための運動の合理的な行い方を身に付けている。							
知識・理解	社会の変化とスポーツ、運動技能の構造と運動の学び方、体ほぐしの意義と体力の高め方に関する基礎的な事項を理解し、知識を身につけている。							

評価の観点は、各教科で異なります。
各教科、昨年度と同じ観点で作成してください。

実時数は必要ないとのことなので
単位数ごとに以下の時数でお願いします。

	1単位	2単位	3単位	4単位
4月	3	6	9	12
5月	4	8	12	16
6月	4	8	12	16
7月	2	4	6	8
9月	4	8	12	16
10月	4	8	12	16
11月	4	8	12	16
12月	2	4	6	8
1月	3	6	9	12
2月	3	6	9	12
3月	2	4	6	8
計	35	70	105	140

単位数を入れると自動で計算されるようにしました。

5月8日

※3学年は各单位共通で2月2時間、3月0時間をお願いします。

更新